

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

研究協力をお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

思春期外来における無月経及び月経随伴症状患者の臨床的背景の検討

1. 研究の対象および研究対象期間

2012年10月～2020年5月に当院思春期・月経随伴症状外来を受診された方

2. 研究目的・方法

月経は、中枢（視床下部一下垂体）からの刺激が卵巣に働きかけ、卵巣から出る女性ホルモン（エストロゲン）によって子宮の内膜が厚く育ち、受精卵の着床に備えます。しかし、妊娠しない場合には内膜が剥がれ落ちて、月経血として腔を通り流出します。つまり、この流れのどこかの部位に障害が起きると無月経や月経随伴症状を引き起こします。中枢性無月経の場合は脳腫瘍や低体重、激しい運動、心因性などが原因となることがあります。卵巣性無月経としては、早発卵巣不全、Turner 症候群などの性染色体の異常、手術による卵巣の摘出、癌治療のための放射線療法や化学療法などが原因となることがあります。子宮奇形や腔閉鎖などは月経血の産生や流出の障害の原因になります。

本研究では、当院における思春期・月経随伴症状外来の無月経や月経随伴症状患者の現状を把握し、病因別背景を調査、治療時期や方法などを検討することを目的に、診療録より後方視的に研究することを計画しました。

研究期間

「医学研究科 人を対象とする研究等に関する倫理委員会」承認後、病院長の研究実施許可を得てから
～ 2030年 5月 31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：身長・体重などの経過がわかる成長記録、手術歴、家族歴、服薬歴や受診歴などの病歴。身体所見、ホルモン・染色体検査など血液検査所見、画像検査所見、術後病理検査所見・術中写真、治療経過や治療薬剤、投与量など。

※ いずれも、日常臨床で診断や治療のために用いた問診・検査所見です。

カルテ番号、生年月日、病理検体番号等の個人を特定しうる情報はすべて削除もしくは暗号化し、データのみを使用いたします。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学病院（医学部産婦人科学講座） 研究責任者：講師・白土なほ子

住所：142-8666 東京都品川区旗の台1-5-8 電話番号：03-3784-8550